

大学番号：私151

注3

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

武蔵大学 人文学部 英語英米文化学科

注2

【届出】設置に係る改善意見等対応状況報告書

学校法人 根津育英会
(学校法人 根津育英会武蔵学園)
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 大学事務局大学企画室

職名・氏名 シツチョウ ナカシオヤ クミ
室長 中塩屋 久美

電話番号 03-5984-3703

(夜間) 03-5984-3703

F A X 03-5984-3817

e-mail kikaku@sec.musashi.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人文学部

<英語英米文化学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 既設大学等の状況	2
3. 教員組織の状況	3
4. 前年度のAC調査において付された意見への対応状況	4

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 根津育英会 武蔵学園
~~学校法人 根津育英会~~

(2) 大学名 武蔵大学

(3) 大学の位置

〒176-8534
東京都練馬区豊玉上一丁目26番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象学部等の名称、定員等

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文学部 英語英米文化学科 学士(人文学)	4 年	100 人	- 年次 人	400 人	

- (注) ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

2 既設大学等の状況

大学の名称	武蔵大学								備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	
	年	人	年次人	人		倍			
経済学部									
経済学科	4	150	-	600	学士（経済）	1.19	昭和24年度	東京都練馬区豊玉上-丁目26番1号	
経営学科	4	150	-	600	学士（経済）	1.24	昭和34年度	同上	
金融学科	4	120	-	420	学士（経済）	1.19	平成4年度	同上	
人文学部									
英語英米文化学科	4	100	-	400	学士（人文学）	1.18	平成23年度	同上	
ヨーロッパ文化学科	4	100	-	400	学士（人文学）	1.15	平成23年度	同上	
日本・東アジア文化学科	4	100	-	400	学士（人文学）	1.25	平成23年度	同上	
英米比較文化学科	4	-	-	-	学士（人文学）	-	平成17年度		平成23年度より学生募集停止 平成28年5月末に廃止届提出予定
ヨーロッパ比較文化学科	4	-	-	-	学士（人文学）	-	平成17年度		平成23年度より学生募集停止
日本・東アジア比較文化学科	4	-	-	-	学士（人文学）	-	平成17年度		平成23年度より学生募集停止
社会学部									
社会学科	4	125	-	500	学士（社会学）	1.14	平成10年度	同上	
メディア社会学科	4	105	-	420	学士（社会学）	1.19	平成16年度	同上	
経済学研究科									
博士前期課程									
経済・経営・ファイナンス専攻	2	10	-	20	修士（経済学）	0.40	平成18年度	同上	
博士後期課程									
経済・経営・ファイナンス専攻	3	5	-	15	博士（経済学）	0.00	平成20年度	同上	
人文科学研究科									
博士前期課程									
欧米文化専攻	2	8	-	16	修士（人文学）	0.49	平成9年度	同上	
日本文化専攻	2	8	-	16	修士（人文学）	0.37	平成9年度	同上	
社会学専攻	2	8	-	16	修士（社会学）	0.37	平成7年度	同上	
博士後期課程									
欧米文化専攻	3	4	-	13	博士（人文学）	0.00	平成9年度	同上	
日本文化専攻	3	4	-	13	博士（人文学）	0.08	平成9年度	同上	
社会学専攻	3	4	-	13	博士（社会学）	0.00	平成9年度	同上	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。

・AC対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 前年度のAC調査において付された意見への対応状況

意見		履行状況	未履行事項についての実施計画
人文学部英語英米文化学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	英語英米文化学科に平成27年4月1日付で40歳代の准教授を採用し、当該学科の教員数を1名増員することで年齢構成の偏りを是正中である。	平成29年4月1日には、定年を超えて再雇用した特別任用教授1名の退職と同時に准教授あるいは専任講師として新任教員を採用する計画である。これにより、指摘を受けた状況は改善しうると判断している。 なお、本学部では、各学科の年齢構成の適正化のため、平成26年5月に「人文学部専任教員の年齢構成を考慮した人事計画について(申合せ)」(別紙1)を定めており、人事面の)将来構想はそれに沿って策定している。

(注) ・前年度のAC調査において付された意見への対応状況を具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
なお、未履行事項がある場合は、今後の実施計画を具体的に記入してください。